

No. 08 「理科」 × 「古典」

【授業者】木内真衣（理科），坂上実芳（国語科）

【対 象】普通科1年A組

【日 時】令和8年2月5日（木）

【テーマ】科学でつくる新・百人一首

【内 容】Copilot を用いて、理科の興味がある分野や身近な現象を題材とした和歌を作る授業を実施しました。1時間目では、和歌や修辞技法についての説明を行い、2025年度大学入学共通テスト「化学」の問題で古文が出題されたことを紹介しました。その後、共通テストのように、古文から理科を探しました。百人一首の和歌の中で理科が関連していると思うところを個人で探し、ペアで共有してもらいました。理科的な観点から



和歌を読むことで、理科の知識が深まることはもちろん、和歌が詠まれた時の情景や、書かれていること以上のことが推測できると知ってもらうことを目的として行いました。2時間目では、Copilot を使い、グループにわかれて理科を題材とした和歌を作りました。生成 AI は誤りも多いため、できた和歌を古典的観点と科学的観点の両面からチェックする様子が見受けられました。できた和歌とその解釈、和歌を作るときに工夫した点などを発表してもらいました。授業の最後には「HIMAWARI～KOYO-3S ルーブリック」を用いて、振り返りを行いました。以下、生徒の感想です。

- 和歌を読んでみて、意外にも理科の要素が含まれており、理系科目の知識を入れることにも、古典の知識や読解にもさらに興味がわいた。
- 自分が知っている古典の文章と理科との関わりについて自分で調べて考えてみるのも面白そうだったと思ったので、時間があれば挑戦したい。
- 理系を選択したけれど、文系の教科と理系の教科の知識を合わせもつことで世界が広がるのだと学ぶことができました。
- 間違いを判断するための基本的な知識を先に身につけてから生成 AI を利用するように心がけようと思いました。